

平成17年度大気環境保全活動功労者表彰受賞者及び功績

(個人: 8件 団体: 1件)

個人

氏名	年齢(歳)	職業	功績概要
伊藤 政太郎 <small>いとう まさたろう</small>	76	なし	39年間教諭として勤務。昭和50年より、自宅において地域の気温・天候・雨量を観測。年ごとの特徴や災害等を記録し続けている。その記録は、地域の大気環境の貴重な統計資料として、学校教育等に活かされ、その功績は大。
岩壺 卓三 <small>いわつぼ たくぞう</small>	65	関西大学工学部教授	長年、神戸市環境影響評価審査会委員を務め、振動の分野を中心に厳正な調査審議に尽力。また、環境問題に関する深い理解と幅広い学識をもとに、神戸市の環境行政に有益かつ先見的助言を行う。その功績は大。
内山 巖雄 <small>うちやま いわお</small>	59	京都大学大学院教授	公衆衛生学、環境保健学の分野で幅広く活躍し、中央環境審議会臨時委員等を歴任。健康リスク総合専門委員会委員長として、有害大気汚染物質の健康リスク評価のあり方について検討する等、大気環境保全に多大な貢献。
沖山 文敏 <small>おきやま ふみとし</small>	62	株式会社オオバ環境本部長	多年にわたり、川崎市の騒音振動に関する業務に従事。環境省の「騒音に係る環境基準の評価マニュアル検討会」、「低周波音影響対策手法調査委員会」等に参画。平成14年から16年には、(社)日本騒音制御工学会副会長を務める等、日本の騒音振動行政に多大な貢献。
丁子 哲治 <small>ちようじ てつじ</small>	54	独立行政法人国立高等専門学校機構富山工業高等専門学校教授	多年にわたり、富山県環境審議会大気騒音振動専門部会の専門員等を務め、大気環境に関する有識者として富山県の地域特性に応じた大気保全施策の確立に貢献。
筒井 剛毅 <small>つつい つよし</small>	60	(社)京都微生物研究所顧問	京都府保健環境研究所技術次長及び大気課長として、大気関係の研究・指導に尽力。環境分野の多方面にわたる課題に関し、技術面からの的確な指導を行い、先進的研究に尽くした功績は大。
嶺本 洋一 <small>みねもと よういち</small>	60	元・住友化学株式会社レスポンスブルケア部環境担当課長	住友化学株式会社において、大気を始めとする環境保全業務に従事。大気汚染物質の排出負荷削減、事業場隣接地域の大气・騒音等の防止に尽力。また、環境保全活動(レスポンスブルケア(RC))を通じ、化学産業や大気環境保全活動に対する、地域住民の理解を得ることに貢献。
宮崎 栄一郎 <small>みやざき えいいちろう</small>	65	仙台コカコーラボトリング株式会社品質保証監査課アドバイザー	環境行政及び公害検査業務を通じ宮城県の大気環境の保全に尽力。退職後も民間企業のアドバイザーとして、事業者に対し低公害車の導入やエコドライブの推進に対する技術的アドバイスを行うなど、宮城県内の事業者の大気保全意識高揚に貢献。

団体

団体名	代表者	功績概要
ダイニックアストロパーク天究館 <small>てんきゅうかん</small>	館長 高橋 進 <small>かんちよう たかはし すずむ</small>	1987年のオープン以来、天体観望会を開催、参加者の大気環境への関心を高めている。また、光害の影響等の解説を通じ、環境にやさしい社会や生活の実践について啓発。小惑星の発見等の天文学的研究も行う。これらの活動により星空への関心を高め、大気環境への理解を深めることに貢献。